

東京2020大会に向けたボランティア体制の構築（案）

（1）東京2020大会関連ボランティア

	大会ボランティア	都市ボランティア	その他ボランティア
概要	大会運営（競技会場内など）に直接携わるボランティア	大会期間中、競技会場外において、国内外からの旅行者に対する観光・交通案内などに携わるボランティア	大会に何らかの形で携わりたいボランティア
運営主体	大会組織委員会	千葉市	千葉市
活動場所	競技会場内、選手村などの大会関係施設	会場周辺駅、主要駅など	幕張新都心や主要駅など
活動内容	観客サービス、競技運営のサポート、メディアのサポートなど	国内外からの旅行者への交通案内、観光案内など	美化活動や会場周辺などの花の水まきなど ※今後、幅広く市民が活躍できる活動について検討。

◆上記表のとおり、本市では東京2020大会時に都市ボランティアとその他ボランティアの組織・運営を行ってまいります。

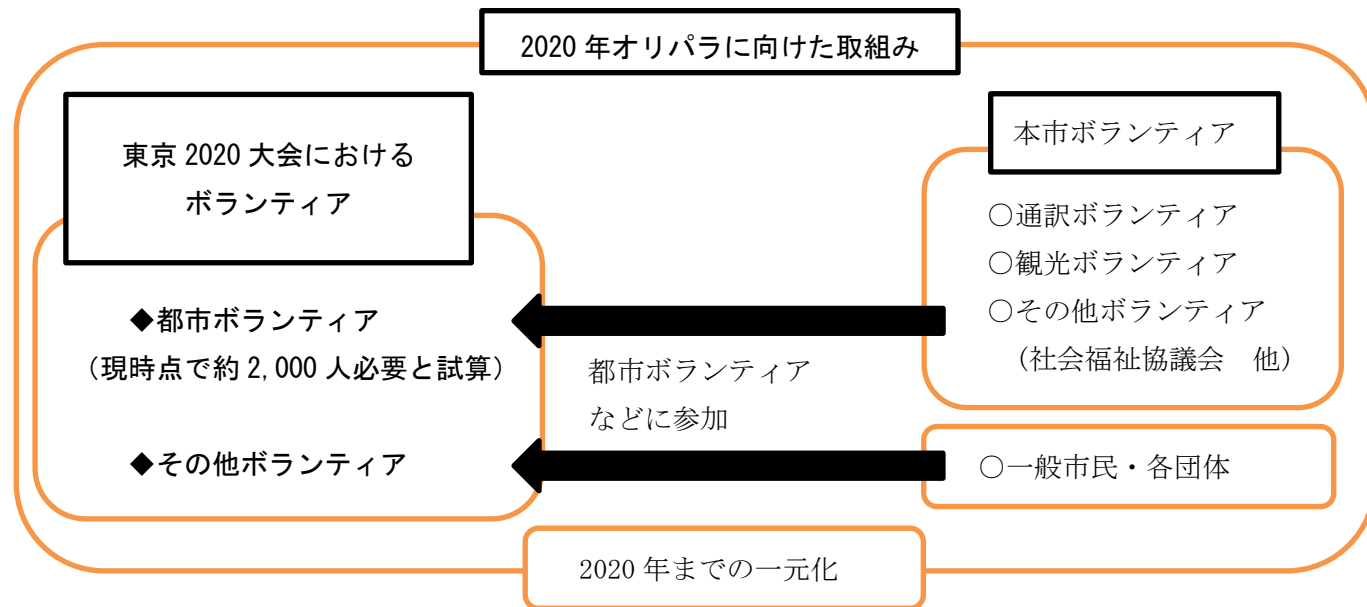
（2）ボランティア実施体制の構築

◆ボランティア実行委員会（仮称）を設立

①趣旨・目的

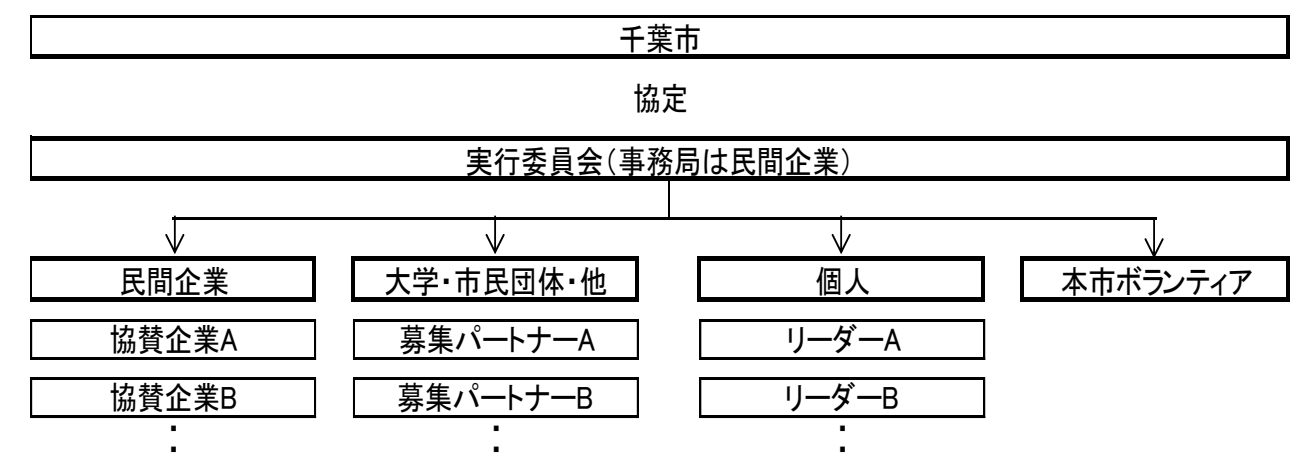
行政だけでなく、様々な団体との連携のもと、民間を主体に組織化を図り、民間のマネジメント力や情報発信力などの様々なノウハウを活用しつつ、当該組織が主体的に都市ボランティアの募集・育成・管理を行い、国内外の観光客や観戦者などだけでなく、自分たちも楽しみながらボランティア活動ができる仕組みづくりを構築する。

本市の各セクションで所管する通訳ボランティアや観光ボランティアなどのボランティアも当該組織への一元化を図る。



②実行体制案

個人だけでなく民間企業、大学やスポーツ団体等と連携し柔軟に全体を運用するため、実行委員会を関係機関等と連携し組織する。



（3）主な予定

①外国人おもてなし語学ボランティア育成講座の実施

外国人観光客等が安心して滞在できる環境を整えるため、街中で困っている外国人を見かけた際などに簡単な外国語で積極的に声をかけ、道案内等の手助けをするボランティアを育成。受講者を都市ボランティアへの参加に繋げる。

②都市ボランティアの募集、研修の実施

2017年度末（平成29年度）から2018年度（平成30年度）にかけて2次にわたり都市ボランティア参加者を募集し、登録者に対して養成講座や研修等を順次実施する。

2018年8月の世界女子ソフトボールを皮切りに、2019年のオリンピックテストイベントなどに派遣し、そこで得た経験やノウハウを東京2020大会へ繋げていく。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		フェーズ
2017 (H29)		ボランティア実行委員会(仮称)設立										都市ボランティア第一次募集		理解
2018 (H30)		都市ボランティア(第一次)研修			世界女子ソフト大会に都市ボランティア(第一次)派遣							都市ボランティア第二次募集	都市ボランティア(第二次)研修	形成
2019 (H31)		都市ボランティア研修											オリンピックテストイベント・ラグビーワールドカップなどのイベントに都市ボランティア派遣	実行
2020 (H32)		都市ボランティア研修											東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会イベント等に都市ボランティア派遣	

（4）本市が目指すレガシー

◆様々な主体の連携が必要となる都市ボランティアの形成と運用の経験は、これまで必ずしも一体となっていなかった本市ボランティアの一元化に結びつくものであり、本市におけるボランティア文化の醸成に引き継がれるようなもの（レガシー）とする。